

第13回

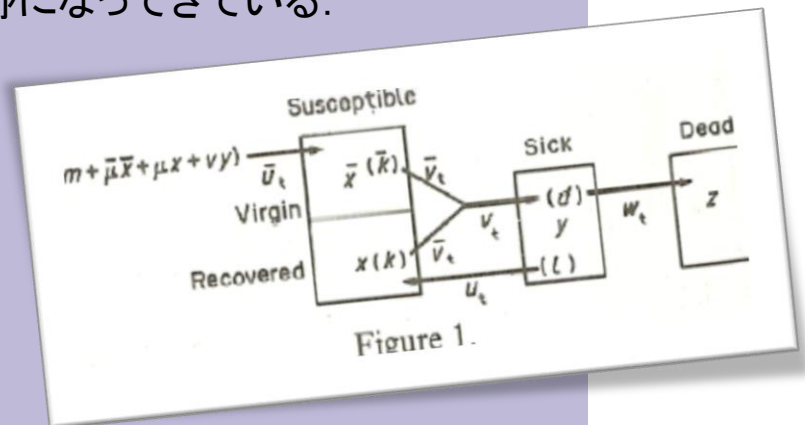
稲葉 寿 氏

(東京大学大学院数理科学研究科)

感染症の数理モデル：歴史と展望

感染症の流行は過去において、そして現代においても人類の生存への最大の脅威の一つである。数理モデルを用いてそのダイナミクスを理解し、予防・対策に役立てようという考えはすでに18世紀には表れていたが、現在では数理生命科学のなかでも最もよく研究され、実践的な意義もおおきい分野になってきている。

本講演では、感染症数理モデルの基本的概念の発展に焦点を当てて、その起源から最近の発展までを紹介したい。

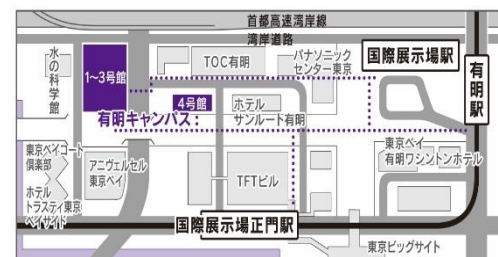


りんかい線「国際展示場駅」徒歩7分

1月24日(火) 16:30-18:00

武蔵野大学有明キャンパス, 4号館 4階 403室

事前登録不要・参加無料：どなたでも自由にご参加いただけます。



組織委員：薩摩順吉，阿部修治，西川哲夫，渡辺知規，
木下修一，田中健一郎，友枝明保，松家敬介，八島亮子

問い合わせ先：武蔵野大学数理工学センター

http://www.musashino-u.ac.jp/facilities/mathematical_engineering.html